



「学ぶ・鍛える・誇る私たち」

～ 小林市立三松中学校 生徒会長 立山勝希 ～



【写真】体育大会の「綱引き」の様子。3年生と保護者が対戦しました。

三松中学校は全校生徒217名で、「学ぶ・鍛える・誇る」という教育目標のもと、日々努力しています。学習面では、「立腰」を心がけ、集中して授業に取り組んでいます。部活動では、ハンドボールが全国大会に出場するなど活躍を見せています。生活面では、清掃開始時に黙想をし、無言で清掃に取り組んでいます。その他にも、明るくはきはきとした挨拶をすることや、礼儀正しい態度をとることなど、様々なことに真剣に取り組んでいます。

また、三松中学校は行事にも力を入れています。体育大会や文化発表会では地域の方々の協力のもと、無事に成り遂げることができました。特に文化発表会は、現在体育館建設中で学校が使えないため、三松小学校の体育館で行いました。昨年度はインフルエンザのため中止となり、一・二・三年生両方にとって初めての文化発表会となりましたが、合唱や総合的な学習の時間の発表、岩戸神楽、吹奏楽部の演奏など、全校生徒で力を合わせて大成功させることができました。現在は、校内駅伝・ロードレース大会に向けて、毎朝耐寒訓練に励んでいます。私たち生徒会は、いじめのない学校を目指し、毎年生徒総会で「いじめ追放宣言」を全校生徒で読み上げています。また、この12月は人権週間であるため、道徳の授業の中で人権についてじっくりと考え、一人一人が自分の思いを標語にしました。



駅伝のまち小林市 市町村対抗駅伝競走大会に挑む

～出場選手を紹介～



宮崎県の冬を熱くする、伝統の駅伝競走大会。今回から、市町村対抗駅伝競走大会として開催されます。小学生から50歳以上まで年齢別に全10区間、42・3キロのコースで健脚を競います。大会へ向けて原田誠監督は「各世代とも力がある。駅伝のまちの名に恥じない走りを見せたい」と抱負。また、斉藤貴憲主将は「チームの力は県内トップクラス。初代王者を狙う」と意気込みを語ってくれました。

- ◎チーム紹介 ※敬称略、○は所属
監督 原田誠(小林中駅伝部監督)
コーチ 横山美和(小林高校男子駅伝部監督)
古園讓二(小林Jrアスリートコーチ)
小学生(1区・9区) 那須豊(小林小6年) 本村仁(細野小6年) 坂元晃基(細野小6年)
中学生(5区・7区) 新涼汰(小林中3年) 宮崎皇城(小林中3年) 轟木亜間(小林中3年)
高校生(4区・10区) 廣末香(小林高校3年) 小園友大(小林高校3年) 小西雄介(小林高校3年)
一般(3区・6区) 斉藤貴憲(小林市役所) 池上聖史(国士館大学) 中本龍之介(小林高校教諭)
40歳以上(8区) 山本正和(東方中教諭) 飯千正巳(えびの自衛隊)
50歳以上(2区) 下津佐善文(会社員) 橋満光一(会社員)



紙屋城址

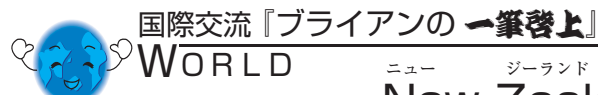
～歴史を語る古井戸～

※引用参考文献「野尻町史」 Vol.34



野尻城址(新城)に残る古井戸

前回は引き続き、野尻にある中世の山城をご紹介します。国道268号線、野尻町東仲町から県道都城野尻線を南に約1.5km進んでいくと、険しい山々が見えてきます。ここ野尻城は、日向の中世を代表する伊東氏の治めた「伊東48城」の1つで、伊東氏家臣の福永丹波守によって守られていました。諸県地方は伊東氏と島津氏の勢力境で、木崎原の戦いで降力をつけた島津氏は、天正4年(1576年)に諸県8城を攻略し、支配下に治めました。このとき攻防の最前線となつた野尻は防衛を固めて島津軍の攻撃に備えましたが、野尻城主福永丹波守の島津氏への内応により、野尻城は降伏しました。野尻城は一見すると、普通の山に見えますが、本城と新城から成り、その規模は広大なものです。それぞれ郭(城内に建物が建てられたりする平坦な地)や空堀(敵の侵入を防ぐために掘られたもの)を持ちます。新城の北から東へかけては城之下川が流れ、東・南・北の3方向を深い絶壁に囲まれ、自然の地形を巧みに利用した守りの堅い城であつたようです。また、新城の1郭と2郭は、現在広い耕作地となつていますが、そのほぼ中央部に古井戸があります。400年以上もの歴史の中で、この古井戸の周りでは様々な出来事が起こつたことでしょう。この古井戸は、後世に伝えたい貴重な文化財として、市指定文化財に指定されています。



New Zealand Firsts(ニュージーランド初)

Vol.43



皆さん、明けましておめでとうございます。ニュージーランドは遠く離れた島国で、自然がきれいといふ知られていないことも多くあります。その一つが、ニュージーランドから世界的に有名な人々や、世界初の物がいっぱい誕生していることです。今回はその中から2人を紹介したいと思います。バンジー・ジャンプやジェット・ボートはニュージーランドで発明されたのニュージーランドで発明されたジェットボート。急流下りはスリル満点です。

は知られていますが、実はニュージーランド人にもあまり知られていない、私たちの身近にあるニュージーランド初のものがあります。それは、コリン・マードックさんが発明した『使い捨て皮下注射器』です。昔の注射器は消毒に時間がかかり、不便なところがあったみたいですが、また他の患者に病気を移す可能性もありました。そこで、現在、世界中でよく使われている、使い捨て皮下注射器を発明しました。またマードックさんは同じ頃に動物の研究をしていて、研究をやりやすくするために麻酔銃も開発しました。もう1人はアラン・プリッチャードさん。プリッチャードさんはニュージーランドの農家のために空中散布を発明した人です。おかげで、広大な農場にも簡単に農薬を撒けるようになりました。身の回りには、何気に使っているものがいっぱいあるものです。それらが、どうやって生まれてきたのか、調べてみると、意外と面白いかも知れませんね。